

教育委員会

総務課	866-2242	学校施設の建設、維持管理
学事課	866-2243	入学・転校、就学関係の補助金
学校教育課	866-2244	教育課程、教育相談
教育研究所	865-2530	教職員の研修
スポーツ振興課	866-2247	生涯スポーツ、体育施設、体育行事
文化振興室	866-2246	文化財の調査・保護、芸術・学術文化活動の育成
秋田城跡調査事務所	845-1837	発掘、整備、出土品の調査研究
生涯学習室	866-2245	生涯学習、児童館・児童センター
太平山自然学習センター	827-2171	宿泊研修施設「まんたらめ」
自然科学学習館	887-5330	展示物での体験学習、科学情報提供

●公民館

青少年センター	824-5378	女性学習センター	824-7764
中央公民館	824-5377	土崎公民館	846-1133
西部公民館	828-4217	東部公民館	834-2206
南部公民館	832-2457	北部公民館	873-4839
河辺公民館	882-5311	雄和公民館	886-5585

●市立図書館

中央図書館明徳館	832-9220	中央図書館明徳館河辺分館	881-1202
土崎図書館	845-0572	新屋図書館	828-4215
雄和図書館	886-2853		

●歴史・資料館・美術館など

千秋美術館	836-7860	赤れんが郷土館	864-6851
民俗芸能伝承館	866-7091	佐竹史料館	832-7892
文化会館	865-1191		

消防

火災情報テレフォンガイド	823-0119	火災の情報	
秋田消防署	823-4100	新屋分署	828-3123
土崎消防署	845-0285	城東消防署	832-3404
秋田南消防署	839-9551	河辺消防署	882-3300
雄和分署	886-2623		

上下水道局

お客様センター	823-8431	水道・下水道に関する問い合わせ
河辺お客様センター	882-5251	
雄和お客様センター	886-5555	



心の相談日

市保健所では、毎月第1・第3木曜日を「心の相談日」とし、心に悩みがあるかたの相談に医師が応じています。市保健所健康管理課でいつでも相談の申し込みを受け付けています。tel(883)1180

お電話ください

いのちの電話 **フリーダイヤルtel0120-738-556**
(毎月10日のみ) 毎月10日午前8時～翌朝午前8時

秋田 **tel(865)4343**
いのちの電話 月～土曜日、正午～午後9時

花と緑の相談 花と緑の相談所tel(831)0087

花や樹木を育てる際の相談にお答えします。

相談
受付

4月1日～10月30日の
火・土曜日(祝日定休)
午前9時～午後4時30分

予約式乗合タクシー 実証実験が終了

北部地区の4路線バスに代わる公共交通手段として考
えている「予約式乗合タクシー」。9月始めに実証実験を
行い、来春からの本格運行をめざしています。

市郊外部の路線バスは、利用者の減
少により、維持が困難となっています。

なかでも、北部地区の堀内線、下新城
線、小友線、上新城線の4路線につい
ては、バス事業者から廃止の申し出を
受け、バスに代わる新たな交通手段が
求められています。このため、市では
「予約式乗合タクシー」を提案し、9
月1日から9日まで実証実験を行いま
した。

このタクシーは、利用する1時間前
までに電話で予約をすれば、自宅付近
から乗継拠点まで行き来してくれる9

人乗りのタクシーです。1時間に1本
程度の間隔で運行し、予約がなければ
運休となります。

実証実験の結果、平日5日間の利用
人数は左表のとおりでした。上りより、
下りの利用人数が全体的に少ないこと
から、家からはこのタクシーで外出し、
帰りは別の方法で帰った人が多いと考
えられます。

運行率は、金足コース54・0パーセント、上新城コース
43・3パーセントで、ほぼ2便に1便は運休だ
ったこととなります。また、平日の5

問い合わせ

都市総務課交通政策室

tel(866)2085

日間で一度も利用がなかった時間帯の
便が11便ありました。利用のない便を
別の時間にずらしたり別方面に回した
りすることで、効率の良い運行ができ
るものと考えられます。

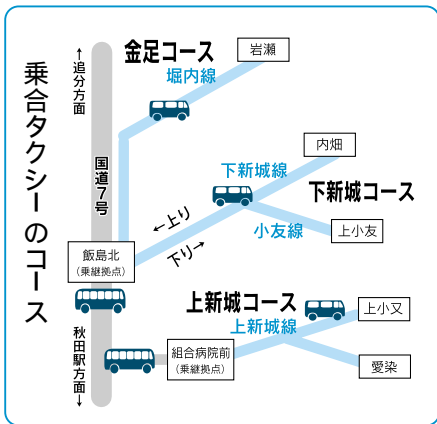
一番の課題は 予約方法とダイヤ編成

実証実験が終わり、9月26日に「秋
田市北部地区公共交通研究会」を開催。
自治会の関係者などが集まり結果につ
いて話し合いました。そこで出された
課題は次のようなものです。

予約方法に関して

- ・予約受付が1時間前までというのは
受付終了が早すぎる。もう少し直前
まで柔軟に対応してほしい
- ・到着連絡の電話が聞き取りにくい高
齢者や耳が不自由な方への配慮を
運行に関して
- ・乗継拠点から路線バスへの乗り継ぎ
がスムーズになると良い
- ・金足、下新城コースの組合病院行き
の便が少ない(実証実験では各コー
ス上り2便、下り1便)
- ・ほかの乗客と乗り合わせるため、目
的地に着くまで大幅に時間がかかる
場合がある
- ・待ち合い室に関して
- ・乗継拠点の飯島北バス停に電話がな
く不便である

今後はこれらの課題を研究会などで
検討しながら、来春の本格運行に向け
て準備を進めていきます。



コース		利用人数	1日平均
金足コース	上り	161人	32.2人
	下り	119人	23.8人
下新城コース	上り	81人	16.2人
	下り	42人	8.4人
上新城コース	上り	38人	7.6人
	下り	39人	7.8人

平日5日間の
利用人数

地域公共交通の活性化・ 再生に関するセミナー

11月6日(火) 午後1時~4時
アルヴェ2階多目的ホール

地域の公共交通の将来像を考え
ます。岩手大学建設環境工学科・
准教授の南正昭さんの講演、パネ
ルディスカッションなど。無料。

申し込み

交通政策室tel(866)2085

Eメール ro-urmn@city.akita.akita.jp



古井義次さん

(金足地区振興会会長)

秋田駅から金足
にある県立博物館
へ行く、観光客へ
の対応などもしつかりと考えてほ
しいですね。また、病院に行くこ
とは日常生活に不可欠なことなの
で、金足方面から組合病院に行く
便は増やす必要があると思います。



永田賢之助さん

(上新城地区
振興会会長)

るので大変便利です。しかし、利
用者は携帯電話を持っていないお
年寄りがほとんどですから、外出
先から電話をかけるのが少し不便
ですね。